

第 28 回時計技能競技全国大会

■募集要項

[1. 競技日程]

10 月 22 日 (木)	14 : 00	選手集合・席順抽選
	15 : 00～	開会式
	15 : 30～	準備
	17 : 00	解散
10 月 23 日 (金)	08 : 30	選手集合
	08 : 30～	人員点呼
	08 : 40～	競技の説明
	09 : 30	競技課題 I の開始
	12 : 30	競技課題 I の打ち切り
	12 : 30～	昼食
	13 : 20	着席
	13 : 30	競技課題 II の開始
	17 : 30	課題 II の打ち切り
	17 : 30～	片付け・梱包
10 月 24 日 (土)	18 : 00	解散
	08 : 50	集合
	09 : 00～	閉会式・表彰
	11 : 00	解散

[2. 競技開催会場]

近江神宮内 「近江勸学館」

〒520 - 0015 滋賀県大津市神宮町 1 - 1

TEL : 077 - 524 - 3940 FAX : 077 - 522 - 3618

[3. 競技課題概略及び制限時間]

- 第一部門 課題 I (CITIZEN Cal. 0510)
クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測等
課題 II (CITIZEN Cal.8200)
機械式時計の故障診断修理とオーバーホール・時間調整等
※制限時間 7 時間 (課題 I は競技開始から 3 時間以内に提出すること)
- 第二部門 課題 I (CITIZEN Cal. 0510)
クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測等
※制限時間 3 時間

[4. 募集期間]

募集開始 : 平成 27 年 6 月 17 日 (水) 10 : 00～

募集締め切り : 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 17 : 00 (時間厳守)

[5. 申し込み方法]

別紙申し込み用紙に必要事項を記載し、上記期間中に申込書を FAX 送付してください。

[6. 問い合わせ先]

ジョウ・ジャパン事務局

TEL : 03 - 3833 - 7821 FAX : 03 - 3833 - 7823

第 28 回時計技能競技全国大会開催要綱

■開催要項

名称

第 28 回時計技能競技全国大会

主催

ジョウ・ジャパン（全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合）

後援

厚生労働省／滋賀県／中央職業能力開発協会／（一社）日本時計協会

日時

平成 27 年	10 月 22 日（木）	開会式	午後 3 時 00 分
	23 日（金）	競技開始	午前 9 時 30 分
	24 日（土）	表彰式・閉会式	午前 9 時

会場

近江勸学館 〒520 - 0015 滋賀県大津市神宮前 1 - 1

TEL : 077 - 524 - 3940 FAX : 077 - 522 - 3618

競技部門

第一部門（メカ・クォーツ）

課題Ⅰ：シチズン Cal. 0510

アナログ表示水晶腕時計、クロノグラフ機能、日付き

課題Ⅱ：シチズン Cal. 8200

機械式自動巻き腕時計、日・曜付き

第二部門（クォーツ）

課題Ⅰ：シチズン Cal. 0510

アナログ表示水晶腕時計、クロノグラフ機能、日付き

表彰

第一部門

優 勝：厚生労働大臣賞

準優勝：中央職業能力開発協会長賞

優秀賞：JOW・Japan 理事長賞

技能賞：JOW・Japan 競技委員長賞

第二部門

優 勝：厚生労働省職業能力開発局長賞

準優勝：（一社）日本時計協会長賞

優秀賞：JOW・Japan 理事長賞

技能賞：JOW・Japan 競技委員長賞

参加賞

各自が競技に使用した時計

参加費

第一部門 1名 29,000円（消費税含）

第二部門 1名 22,000円（消費税含）

※参加費の返却について：8月19日（水）以降の辞退は返却しない。

参加資格

特に問わない（進行は日本語で行う）。

参加人数

各部門とも20名を上限とする。但し、両部門の合計人数が40名を超えた場合は調整を行う。

申込〆切

平成27年7月10日（金） FAXの申込可

【結果】

10月22日から24日までの3日間、滋賀県大津市の近江勸学館で、全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合（ジョウ・ジャパン、近藤千佳之理事長）主催による『第28回時計技能競技全国大会（後援＝厚生労働省、滋賀県、中央職業能力開発協会、（一社）日本時計協会）』が開催された。今年は12月に千葉県で技能五輪が開催されるため、例年より1ヵ月早い開催となった。大会は3日間を通し、晴天に恵まれ、気候も安定した中で行われた。

開会式は、市川運営委員（静岡）の司会により始まり、近藤大会会長（ジョウ・ジャパン理事長）があいさつを述べた。続いて来賓として、近江神宮宮司・近江時計眼鏡宝飾専門学校校長佐藤久忠氏が参加者を激励した。

競技は第1部門（機械式時計、クォーツ時計）と第2部門（クォーツ時計）に分かれて行われ、全国から38名（第1部門18人、第2部門20人。参加者の平均年齢は27.8歳、入賞者の平均年齢は25.3歳）の参加者が集い、競われた。午前9時30分の競技開始から午後5時30分までの7時間（第2部門は制限時間3時間）にも及ぶ細かい作業が要求される厳しい競技の結果、第1部門で優勝したのは、セイコーエプソン㈱に勤務する相馬弘希さん（22）。第2部門も同じくセイコーエプソン㈱の平谷朱菜さん（18）が優勝した。

閉会式では、大会副会長を務める、ジョウ・ジャパン藪内正明副理事長が、開催協力に対する謝辞を述べるとともに、「参加者の技術が毎年レベルアップしており、拮抗しているとの報告を受けています。そんな中で、見事な成績を収められ、入賞された皆さん、本当におめでとうございます。また、大会という大変緊張を強いられる中で、思い通りに作業ができなかった人もおられることでしょう。入賞された皆さんは、これからも技術に磨きをかけられる日々努力を続けてください。惜しくも入賞を逃した方は、またの機会を目指していただければと思います。皆さんは、これからの時計業界を支える力であることは間違いありません。今後のご活躍に期待しています。頑張ってください」と話した。

参加者を代表し、第1部門において優勝した相馬さんが、主催者、後援者、さらに関係団体に対して謝辞を述べるとともに、自分たちに課せられた使命の大きさを受け止めつつ、将来の時計業界のためにも頑張っていきたいと決意を述べた。

続いて、来賓として（一社）日本時計協会の佐藤孝雄専務理事、近江神宮宮司・近江時計眼鏡宝飾専門学校校長佐藤久忠氏がそれぞれ祝辞を述べ、参加者たちの努力を称えた。

その後、佐々木和人副主査・競技委員より大会の講評、鴨下進運営・競技委員長・主査からの閉会あいさつがあり、3日間の日程が終了した。

入賞者は次の通り（敬称略）。

■第1部門

優勝：厚生労働大臣賞	相馬弘希	セイコーエプソン㈱
準優勝：中央職業能力開発協会会長賞	井原日菜子	シチズン時計マニユファクチャリング㈱
優秀賞：JOW・Japan理事長賞	古林美里	シチズン時計マニユファクチャリング㈱
技能賞：JOW・Japan競技委員長賞	熊淵太一	近江時計眼鏡宝飾専門学校

■第2部門

優勝：厚生労働省職業能力開発局長賞	平谷朱菜	セイコーエプソン㈱
準優勝：（一社）日本時計協会会長賞	田中宏治	セイコーサービスセンター㈱
優秀賞：JOW・Japan理事長賞	野城真利絵	セイコーサービスセンター㈱
技能賞：JOW・Japan競技委員長賞	矢田森裕太	盛岡セイコー工業㈱